



令和 7 年 6 月 27 日

市政記者クラブ 様

環境局資源循環部資源循環企画課
課長 吉原 (TEL 972-2378)
課長補佐 樋山 (TEL 972-2398)

事業者と連携した衣類循環の取組みについて

衣類は、「大量生産・大量消費・大量廃棄」によって製造時の資源やエネルギー使用の増加、ライフサイクルの短さから環境負荷が非常に大きいと言われています。本市においては、事業者と連携した取組みをとおり、衣類循環の普及啓発を強化していますので、ぜひ広報にご協力下さいますようお願いいたします。

1 株式会社 ECOMMIT との取組み

本市は、令和 6 年 5 月 30 日に株式会社 ECOMMIT (エコミット) と協定を締結し、PASSTO (パスト) ボックスを活用した衣類回収事業を推進しています。現在、市内に常設の PASSTO ボックスがショッピングセンターなどに 36 ヶ所設置されており、令和 7 年 5 月 31 日までの 1 年間に 21,986 kg の衣類が回収され、単純焼却された場合と比較して 14,307 kg (78.8%) の CO₂ の削減につながっています。

(令和 6 年 5 月 30 日～令和 7 年 5 月 31 日までの回収実績)

分 類	重量 (kg)	割合 (%)
国内リユース	2, 2 7 7	1 0 . 4
海外リユース	1 7, 3 9 7	7 9 . 1
リサイクル	2, 0 2 4	9 . 3
廃 棄	2 8 9	1 . 3
合 計	2 1, 9 8 6	1 0 0 . 0



設置場所や回収・選別結果等の詳細



2 環境省のモデル実証事業への参加

認定 NPO 法人中部リサイクル運動市民の会の提案が、環境省の「令和 6 年度補正予算 使用済衣類回収のシステム構築に関するモデル実証事業」に採択され、本市も連携団体の 1 つとなっています。当該団体が実施する、市内への衣類回収ボックスの設置やイベントの開催に本市も協力することで、市民の衣類循環の行動変容につなげていきます。

<実証事業の内容（予定）>

- ・衣類回収ボックスの設置
- ・衣類循環に資するイベントの開催（「循環フェス名古屋（※）」など）
- ・回収した衣類を使ったアップサイクル など

（※）Z世代への衣類循環の啓発をテーマに、中部リサイクル運動市民の会が主催（本市後援）で、開催するイベント。令和7年4月19日（土）にエディオン久屋広場で開催した循環フェス名古屋では、衣類回収や1人3点まで古着が無料で持ち帰れる「¥0マーケット」、ステージ企画や古着ショップの出展などがあり、約1万人が来場した。



公式サイト



（参考）株式会社 ECOMMIT（エコミット）

所在地：鹿児島県薩摩川内市水引町 2803 番地

代表者：代表取締役 CEO 川野 輝之

HP：<https://www.ecommit.jp/>

事業内容：循環型社会に向けたインフラ・システム開発及びリユース・リサイクル事業

ECOMMIT
地球にコミットする循環商社

（参考）認定NPO法人中部リサイクル運動市民の会について

1980年に使い捨て社会や環境破壊への危機感から、「できるところから始めよう」と有志が集まりスタートさせたのが「中部リサイクル運動市民の会」です。すべての“いのち”が調和する持続可能な未来のために、地域に暮らすさまざまな立場の方々とともに、「しくみを創る」「社会を変える」「行動するひとを増やす」「ともに動く」を柱に、幅広い活動を行っています。

認定NPO法人
中部リサイクル運動市民の会
CHUBU RECYCLE CITIZENS' ORGANIZATION